

# 指定管理者制度導入施設評価票

評価対象年度	令和5年度		
施設名	奥森吉青少年野外活動基地	設置年	平成 10 年
所在地	北秋田市森吉字森吉山麓高原1番地		
指定管理者	特定非営利活動法人 冒険の鍵クーン		
県所管課	自然保護	課	調整・自然環境 チーム

## 1 施設の概要

設置目的	奥森吉の恵まれた自然の中で野外活動を行う機会を提供することにより、青少年の自然環境に関する意識の高揚を図り、もって自然環境の保全に関する学習の振興に寄与する。					
県の施策上の施設の位置付け	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における施設の位置付け・目標 生物の多様性の確保と自然公園等の適正な管理					
	新秋田元気創造プランや各分野の個別計画等における目標を達成するための 取組として施設に求められているもの 自然環境学習拠点施設等の利用者数の増加					
施設の面積	エリア面積487.7ha					
主な設置施設	管理棟1棟、キャンプ場サニタリー3棟、キャンプサイト60区画					
指定管理業務の内容	料金制	有（利用料金併用制 ・ 完全利用料金制） <b>無</b> （指定管理料制）				
	料金設定					
	サウンディング実施対象施設※	×				
	指定期間	R3.4.1		～	R8.3.31	
	営業期間・時間	6月1日～10月31日 午前9時～午後6時				
		(1) キャンプ場を主とした使用許可等に関する業務 (2) 施設及び設備の維持管理に関する業務 (3) 野外活動基地の管理に関し、知事が必要と認める業務				
自主事業の内容	(1) 小学生までの児童を対象とした夏季の組織キャンプと自然体験活動及び参加児童保護者も加えたデイキャンプ、植樹活動 (2) 小中学生を対象にした組織キャンプ、野生生物調査及び学習 (3) 他団体主催の流木アートでオブジェと落葉で堆肥作りに共催として協力					
直近3年の年間利用者数	R3	1,590 人	R4	1,248 人	R5	1,102 人
直近3年の年間利用収入	R3	千円	R4	千円	R5	千円
直近5年の収支決算(単位:千円)		R元	R2	R3	R4	R5
収入 計		6,793	6,919	6,781	6,781	6,781
利用料金収入						
指定管理料		6,793	6,919	6,781	6,781	6,781
その他収入						
支出 計		5,886	6,720	7,472	7,062	6,785
人件費		2,550	2,945	3,249	3,164	3,001
光熱水費						806
修繕費						132
外部委託費						1,978
その他経費		3,336	3,775	4,223	3,898	868
差 引		907	199	▲ 691	▲ 281	▲ 4

※単年度維持管理・運営費が1億円以上の公募施設について、民間事業者の意見を参考に運営手法や公募要件を検討するため、指定期間終了の3年前にサウンディング(官民対話)を実施する。

## 2 観点ごとの評価

### <観点 I> 施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

#### 【ポイント】

施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための取組がなされ、その効果があったか。

#### ○指定期間における運営方針・施設の利用目標

(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)

#### ○目標の設定(毎年度、県と指定管理者が協議の上、業務計画書に定める目標)

令和5年度 の目標	利用者数 1,500人
--------------	-------------

#### ○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	実績	1,102人	達成率	73.4%	
	具体的な取組とその効果	開所時期の6月1日～12日まで融雪災害で基地への市道が通行止めになった。この時期は新緑と山菜取り、リピーターが多いので利用者の減に繋がった。期待されたコロナによる移動制限解除の効果は当地域では少なかった。			
直近3年 の実績	年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	目標	2,000	1,500	1,500	
	実績	1,302	1,590	1,248	
	達成率	65.1%	106.0%	83.2%	
令和6年度 の目標 (設定根拠)	目標	利用者数 1,500人			
	設定根拠	前年の市道通行止めとは別に利用者は減少傾向にあるが、当法人、他団体のイベントの再構築を図る。また、当法人ホームページから現地の最新情報の提供、繋がりにくい和不評の通信の改善などで利用者の増加に努める。			

※指標が複数ある場合は欄を適宜追加すること。

### <観点 I> の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	C	目標に近づけなかったのは市道の通行止めもあるが、利用者の2極化(Wi-Fi機能の未整備、自然志向派への最新情報の提供の遅れ)も原因として考えられる。
	県(所管課)	C	昨年度に引き続き利用者数が目標未達となった。市道通行止めや通信環境の影響による利用者数の伸び悩みは地域の特性上やむを得ないものである。

【評価基準】次の基準により評価。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。  
また、施設の設置目的(施設の目指す姿)を達成するための、指定期間における運営方針・施設の利用目標について、指定期間開始年度から評価対象年度までの達成状況をコメント欄に記載すること。

A: 目標達成(数値目標の場合は100%以上)

B: A及びC以外

C: 目標達成に向けて改善が必要(数値目標の場合は80%未満)

＜観点Ⅱ＞ 施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

【ポイント】

サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

利用者満足度 令和5年度 の実績	実績	92.8%		
	具体的な 取組と その効果	草地等環境、トイレ等施設の評価は毎年高評価、反面不評はシャワー、Wi-Fi使用できないこと、電話が繋がらず予約しづらいこと。要望事項は関係機関と協議したい。		
利用者満足度 の状況 (直近3年)	R2年度	R3年度	R4年度	
	91.8%	88.6%	91.0%	

＜観点Ⅱ＞の評価

評価欄	評価者	評価	コメント
		指定管理者	A
	県 (所管課)	A	引き続き高い満足度を維持している。

【評価基準】次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: 満足度80%以上 B: A及びC以外 C: 満足度60%未満

＜観点Ⅲ＞ 効率性の向上等に関する取組

(1) 経費の低減

【ポイント】

施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	経費の 低減実績	今年度は修繕等もなく収支バランスは安定しました。
	具体的な 取組と その効果	施設の老朽化対策は今後県と協議する。

※費用の総額では効果が計れない場合は、例えば利用者1人当たりの単価を算出する方法等も考えられる。

(2) 収入の増加 ※指定管理料制施設を除く

【ポイント】

収入を増加するための具体的な取組がなされ、その効果があったか。

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	収入の 増加実績	収入は指定管理料だけです
	具体的な 取組と その効果	—

<観点Ⅲ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	A	指定管理料の額で適正かつ効率的に運用している。
	県 (所管課)	B	経費の削減に努めている。

【評価基準】 次の基準により評価を行う。基準によらず各区分に相当すると認められる場合は、コメント欄に理由を付すこと。

A: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上改善

B: A、C以外

C: (1)経費の低減、(2)収入の増加とも前年比で5%以上悪化

<観点Ⅳ> 公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組

【ポイント】

施設の管理運営（指定管理業務）の適切な実施に向けた具体的な取組がなされ、その効果があったか

○指定管理者による実績報告

令和5年度 の実績	<p>○人員配置と業務 施設の管理運営に必要な人員を配置し、利用者の受付、エリアを定期的に巡回し施設の安全等に努めた。</p> <p>○環境整備 キャンプ場建物及び草地については快適に過ごせるよう清掃、草刈りを行った。</p> <p>○情報提供 利用者には野生生物との関わり方を伝え、道路情報、危険箇所等は玄関ホールの白版に表示した。又、携帯電波が弱いので通話可能な場所を伝えた。</p> <p>○利用者増の取り組み 生物多様性キャンプ、他団体とのイベントによる集客に努めた。</p> <p>○コロナなど衛生面 移動制限前と同様に施設の定期的な除菌対策を行い、感染予防に努めた。</p>
--------------	---

<観点Ⅳ>の評価

	評価者	評価	コメント
評価欄	指定管理者	B	施設の管理運営等、指定管理業務は適正に行っている。
	県 (所管課)	B	適正な管理運営に努めており、重大な問題点は見受けられない。

【評価基準】 A: 順調(改善点なし)、B: 概ね順調(重大な問題点なし)、C: 改善が必要(重大な問題点あり)  
県(所管課)の評価においては、モニタリング結果を踏まえて評価を行う。

## 【県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方】

※全施設記載

### ○県の施策の達成状況(施設を運営することで、県の施策がどの程度達成されたか等)

奥森吉の恵まれた自然とふれあい、学習できるエリアとして活用されており、県民の環境保全の意欲の増進、環境教育・環境学習の推進等に寄与している。

### ○施設運営の課題

施設の老朽化

### ○今後の方向性(県の施策の達成状況や課題を踏まえて、今後所管課としてどのように対応していくか等)

引き続き必要な修繕等を実施しながら管理運営する。施設の老朽化が進んでいるため、将来的な大規模修繕を含めた施設のあり方について検討する必要がある。